

## 活動実績報告書

平成26年4月17日

登録番号 20130619

氏名 中島 崇文

## 1. 活動状況

平成25年4月 ～ 平成26年3月

## ・ 活動の概要

山梨県における木材流通の現状及び森林資源の現況を踏まえた林業・木材産業の活性化構想の作成及び実行体制の構築支援。

## ・ 当該活動を挙げた理由

平成23年7月の森林・林業基本計画の変更を受けて、山梨県では平成24年3月に「やまなし森林・林業再生ビジョン」を策定し、素材生産量を平成22年度の14万8千m<sup>3</sup>から、平成33年度には26万7千m<sup>3</sup>に拡大する目標を掲げている。

他方で、山梨県には、大型製材工場や合板工場がなく、また、県内には小規模零細な製材工場が多いため、県内の製材品出荷量は年々、減少傾向にある。

このため、山側において、一方的に原木の増産を進めた場合、原木の需要先が限られていることから、原木価格の下落を招くおそれがあり、本県における資源賦存量並びに製材用及びチップ用等の用途別の需要量を整理した上で、県内・県外の需要先の確保や需要に応じた原木の増産を進め、県内の素材生産業・木材産業の活性化を図ることが必要。

## ・ 当該活動における、あなたの立場と役割

現状の山梨県の素材生産量の規模からすると、大型製材工場や合板工場等の大ロットかつ安定的な原木の需要に応えるためには全県的な体制整備が必要。

県の木材流通・バイオマス担当者として、県全体の課題に対応する立場にあるため、「やまなし森林・林業再生ビジョン」に掲げる目標達成に向け、全体構想（方向性）を提示するとともに、市町村又は地域・流域ごとの具体的な取組みを支援する。

ア) 現状の調査

イ) 課題の分析

ウ) 全体構想（市町村森林整備計画・森林経営計画作成の指針）の作成

エ) 事業者の動機付け、関係者の調整、実行支援

## ・ 活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

山梨県の森林は、スギ、ヒノキのほか、カラマツ、アカマツ、広葉樹等が多く存在する多種多様な樹種構成が特徴であり、これは多様な需要に応えられる可能性がある一方で、量をまとめる上ではネックとなる。

また、現状、山梨県では、素材生産量に占める木材チップ用として利用されている割合が非常に高く、本来、製材用、合板用として利用可能な原木をチップ加工してしまっている可能性がある。

更に、森林蓄積の樹種構成割合に比べ、スギ、ヒノキの素材生産量が少なく、アカマツ、広葉樹等の伐採割合が高い。

注1:1. 活動状況については、直近の過去5年間に、森林総合監理士としての活動に関連していると考えられる、又は森林総合監理士として取り組んだ具体的な活動内容を記載してください。

平成23年の素材生産量の実績

単位：千m<sup>3</sup>

区分	合計	スギ	ヒノキ	カラマツ	アカマツ クロマツ	その他 針葉樹	広葉樹
素材生産量	155	19	10	28	37	16	45
(参考：全国)	100.0% (100.0%)	12.3% (52.8%)	6.5% (11.9%)	18.1% (13.2%)	23.9% (3.2%)	10.3% (6.4%)	29.0% (12.6%)
用途別							
製材用	27	11	6	6	4	0	0
合板用	24	2	0	12	10	-	-
木材チップ用	104	6	4	10	23	16	45

出典：平成23年木材需給報告書

このため、「やまなし森林・林業再生ビジョン」における素材生産量の目標値及び「森林・林業基本計画」の木材の用途別の利用量の目標等をもとに、山梨県において指向すべき樹種別の素材生産量及び用途別の加工量等を整理した。

平成33年度における素材生産量目標の樹種別分解試算

単位：千m<sup>3</sup>

区分	合計	スギ	ヒノキ	カラマツ	アカマツ	その他 針葉樹	広葉樹
素材生産量	267	57	56	52	35	22	45
	100.0%	21.2%	21.1%	19.4%	13.1%	8.4%	16.9%
用途別							
製材用	88	29	29	27	4	0	0
合板用	33	8	8	7	9	-	-
木材チップ用	146	19	19	18	22	22	45

・ 活動による成果で残された課題及び今後の改善方策

樹種別及び製材、合板、木材チップ等の用途別の需要量の目標を示すことにより、森林所有者等による目標林型の設定を間接的に支援するとともに、地域の実情に応じた市町村森林整備計画の策定が行われることを期待。また、結果として、施業の集約化、森林経営計画の作成が進められ、中長期にわたる計画的な原木の供給体制が構築されることを期待。

今後、地域の木材加工・流通体制の整備について具体の指導を行っていく。

## 2. 研修の受講状況

\_\_\_\_\_

## 3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

- ・ 「天然更新完了基準の手引き見直しに係る勉強会(林野庁・森林総研)」の運営、取りまとめ  
(平成23年4月～平成24年3月)
- ・ 「やまなし木質バイオマス協議会」の活動・運営にオブザーバーとして参加  
(平成25年4月～)
- ・ 「南アルプス市バイオマスタウン推進協議会(南アルプス市)」に委員として参加  
(平成26年3月～)

注2:2. 研修の受講状況、及び3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況については、直近の過去5年間に取り組んだ具体的な内容と時期を記載してください。

注3:活動実績報告書は、A4で全2枚としてください。

注4:この活動実績報告書は、このままPDF化して林野庁ホームページに掲載しますので、見やすさ読みやすさ、個人の特定等、公開に差し障りのある表現にもご配慮ください。